

横川堰 マップ

上山市内から県境付近までは車で40分程度、そこから取水口までは徒歩で30分程度かかる。途中の道路は道幅が狭く急勾配の砂利道なので、車の運転には十分注意が必要。



御釜



五色岳

至 上山市

蔵王ライザスキー場

至 蔵王町



体験学習に訪れる地元小学生。

横川堰

至 上山市

263

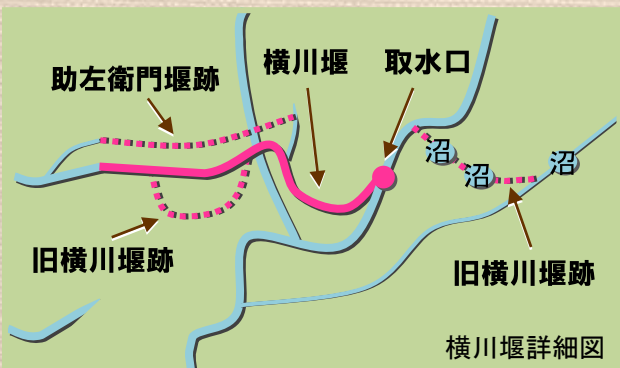
萱平川

舟引林道

舟引山

横川

至 七ヶ宿ダム



鳴門沢

ブナの原生林からこんこんと水が湧き出る。

横川堰年表

- 文政四年(1821) 七代奈良崎助左衛門が蔵王横川の分水の絵図面作成。
- 文政五年(1822) 助左衛門堰開削。
- 文政十一年(1828) 伊達藩に分水許可の嘆願書を提出するも分水認められず。
- 明治元年(1868) 八代助左衛門らが上山藩に嘆願書を提出。同様の書面を宮城県関村にも提出。
- 明治二年(1879) 山形県令三島通庸は宮城県令松平正道を檜下宿に招き直接交渉。同年一二月に分水の許可。
- 明治一四年(1881) 横川堰完成。
- 昭和三九年(1964) 災害復旧事業等によりコンクリート水路に改修完了。
- 昭和五三年(1978) 県営事業により隧道・水路の整備完了。
- 平成一六年(2004) 県営事業により隧道・水路の改修完了。

水^み
土^ど
里^り

ウオーク

よ
こ
か
わ
ぜ
き
横川堰



宮城県七ヶ宿町

全国で唯一

県境を越えた水源

山形県上市市（かみのやまし）の水田を潤す横川堰の水。実は、この水は宮城県七ヶ宿町にある南蔵王山系・横川源流を水源としているもので、県境を越えて農業用水を取水している全国で唯一の施設と言われている。

この横川堰の歴史は古く、遡ること約200年前、上山の庄屋「七代奈良崎助左衛門」が、水不足に困る農民の願いを叶えるため、宮城県に流れる豊富な水を、堰を掘ることにより山形県へ分水することを計画。その後、伊達藩（宮城県）へ分水許可の嘆願書を何度も提出したが認められず、息子の八代助左衛門の時に、ようやく分水を許可されている。

こうして横川堰が完成したのは明治14年。父子二代に渡り60年を費やし、完成した。

現在も横川堰は改修整備が行われ、大切に使い続けられるとともに、先人の遺徳を後世に残すため、地元小学生や一般参加者により、現地見学会が行われている。

間近に蔵王山頂が眺められるほど標高が高く、ブナの原生林に覆われた自然豊かな場所で、今もなお、横川堰の水は脈々と流れている。



お問い合わせ先

上市市土地改良区 TEL 023-672-0419

上市市金生東二丁目 15-26